

三次を大切に思う皆様のふるさと愛に育まれながら 三次中
～自治連代表者による授業参観と職業人講話を行いました～

○自治連合会各団体代表者による授業参観【5/24(水)、25(木)】

5月24日にはみよし学園家庭支援チーム、25日には自治連合会各種代表者の方々をお迎えし、学校説明並びに授業参観を行いました。まず、学校の運営方針として「自己の強みを生かした進路実現」、そのための各種検定・コンクール等への挑戦、3能力《コミュニケーション能力、主体性、協調性》の進級による確実な向上の実態等を説明しました。そして、授業参観を通して子どもの学びの姿や教師の指導のあり様を見ていただきました。「教師が一方的に教えるのではなく、生徒の反応を受け止め、それを生かしていこうとする和やかな雰囲気」である等の感想をいただきました。最後に、コミュニティ・スクールの昨年度の具体的な活動内容と本年度の運営構想を述べました。「各種広報メディアを通して意図的・効果的な情報発信に努められており、『生きる力』の育成がダイレクトに伝わってくる」と言っていただきました。

今後とも、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、様々な活動を創造していくことを確認することが出来ました。



○職業人講話をしていただきました！【5/25(木)】

職場体験学習に向けて、「働くこと」の意義や勤労の尊さを学ぶために、佐藤明寛先生(東洋広告)、吉村信行先生(まるよし交通)、吉川順一郎先生(JA ひろしま)の3名をお招きして、講話をしていただきました。3グループに分かれて懇談形式で学んでいきました。

【生徒感想より】

・一番心に残ったことは、社員だけでなく社員の家族も養わないといけない責任や義務があると言われていたことです。・・・中略、仕事をするうえでこのような責任があるので大人はすごいと思いました。明るくて元気な人を雇いたいと言われていたので、普段から明るくみんなに接して職場体験も頑張りたいなと思いました。



・介護では高齢者の方の意思を尊重し、自立できるように支援することが大切だとわかりました。自分だけの意思を突き通すのではなく、他の人や周りの人の意見を取り入れることが大切だと思いました。これは、介護だけではなく、普段の学校生活でも取り入れたいと思いました。

・楽な所に慣れたら、厳しい世界を見れないと言われたことが印象に残りました。楽なところにはばかりいても厳しいところに行ったら何もできないから、今のうちに自分に厳しくして社会に出てしんどくならないようにしたいと思いました。



「魅力ある学校」の実現！～環境整備作業～河内小

5月21日（日）に、河内小学校の環境整備作業を行いました。朝早くから保護者や地域の皆さん、中学生の有志の皆さんが学校に集まり、子ども達と一緒に校庭の草取り、校舎周りの溝掃除、植木の剪定作業など、普段手の回らないところをきれいにさせていただきました。

また、前日の20日（土）には、本校のプールの掃除をしていただきました。河内小学校のプール掃除はもう何年も前から河内地区消防団の皆さんにご協力いただき、子ども達と一緒に掃除をしてくださっています。

本年度もきれいになった校庭やプールで子どもたちは元気に学習や遊びを楽しむことができます。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



遠足でのコミュニティ・スクールの取組 三次小

【遠足での取組】



5月2日に遠足に行きましたが、3年生は比熊山に登りました。ふれあい会館の西川館長さん、市議会議員の弓掛 元さんに一緒に参加してもらいました。登る途中にガイドをしてもらいながら上りました。東屋から見る三次の街の景色と三次小児童の描いた天井絵も見ました。たたり岩も見ました。

午後からは、ゲストティーチャーの森岡 晋さんに小路についてのフィールドワークをさせていただきました。三次の街を知ることで愛着につながったと思います。

4年生は、同じみよし学園である河内小学校まで遠足に行き、河内小学校児童との交流会を行いました。河内小学校の児童との交流を楽しみにして、一人一人がめあてをしっかりと持って交流しました。河内小児童の得意な一輪車運動を見せてもらい、自分達もチャレンジしたいと刺激をもらうこともできました。帰る時は名残惜しく、いつまでも手を振っていました。とても良い交流になりました。



「ともえ 2040」へのご意見や感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校 TEL 0824-62-2896 FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp